

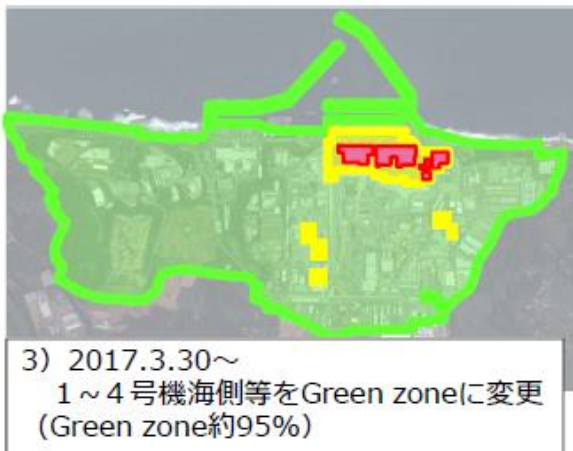
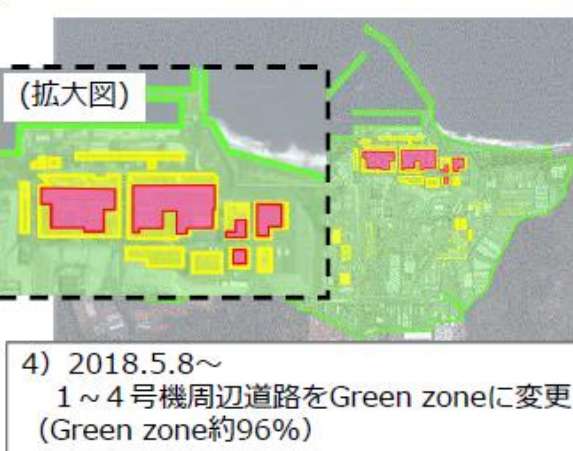


被ばく低減対策好事例集

場 所		分 類		番 号	01-12
原子炉建屋内	RB	R 4	1 時間		
タービン建屋内	TB		2 距離		
R ZONE	R		3 遮へい		
Y ZONE	Y		④ 線源の除去		
G ZONE	G		5 遠隔、自動化		
その他 ()	Z		6 汚染拡大防止		
			7 その他		
内 容		線量率低減のための構内全域除染			
作業部位		1F 構内全域			
概 略		1F 構内全域の線量率が高く、作業環境改善のために除染が必要であり、除染目標を設定し、エリアを決めて除染・フェーシング等の対策並びに装備の軽減化を図った。			
評 価 ④ 定性・定量	効 果		対策前	対策後	
		被ばく線量(mSv)	--	--	
		人工数(人日)	--	--	
事例詳細					
<p>対策前 1F構内は、当初全域が全面マスク着用エリアであり、作業性が極めて悪かった。</p> <p>対策内容 除染目標を設定し、エリアを決めて除染・フェーシング等を実施するとともに、防護装備の軽減化をエリア毎に実施した。これにより、構内の殆どが（R/Yゾーンを除く）Gゾーンとなり、防護装備の軽減化を果たした。</p>					
 <p>1) 事故当時～ 構内全域で全面マスク着用</p>		 <p>2) 2016.3.8～ 区域区分運用開始 (Green zone約90%)</p>			
 <p>3) 2017.3.30～ 1～4号機海側等をGreen zoneに変更 (Green zone約95%)</p>		 <p>(拡大図)</p> <p>4) 2018.5.8～ 1～4号機周辺道路をGreen zoneに変更 (Green zone約96%)</p>			
提供：日本スペースイメージング（株）(C)DigitalGlobe					